

【中小企業振興円卓会議】令和元年度専門部会 事業計画書

活動名	まつやま みつけふえ 「松山の暮らしやすさ」+「松山の働きやすい企業」を見つけ+カフェ	
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会	
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟	
代表団体名	公益社団法人 松山法人会	
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」	
活動詳細	現状・課題	労働力不足はますます深刻な状況となり、中小零細企業は経営リスクとして労働力不足を認識している。また、雇用形態は多様化、就職観は変化し続けており、人材を確保したい企業は、更なる働き方改革、ダイバーシティマネジメントと積極的な求人プロモーションを求められるようになってきている。 有効求人倍率は前年度比増となっており、大企業志向が高推移していることや市内優良中小零細企業を認知する機会が限られていることから、今後も就職を機とした市外流出が拡大していくと予想される。また、就職先の決定に親の意向が大きく影響する現状もある。
	活動内容	1. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供 （1）学生の職業観を掴みながら、ある一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業（ワークライフバランス優良企業）のみが参加できる「働き方」の勉強会とする。 （2）ワークライフバランス優良企業の選定方法は以下の通りとする。 えひめ子育て応援企業、えひめ子育て応援ゴールド企業、くるみん、プラチナくるみん認定企業、えるぼし認定企業、次世代法・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定企業、愛媛県「ひめボス宣言」事業所、松山市「イクボス宣言」企業、（公財）松山市男女共同参画推進財団「まどんな応援企業宣言」提出企業等の両立支援に積極的に取り組む企業の中から担当社労士が事前に個別ヒアリングを行い選定。 （3）えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会にご協力依頼し、各大学短大のキャリア教育等の時間をご提供いただきイベントを実施する。 （4）ワークライフバランス優良企業で活躍するイクメン、ロールモデルにテストスピーカーとして講演いただき、組織の業績向上と人生のあらゆるターニングポイント（結婚、育児、介護など）の経験の中で自ら仕事と私生活を楽しむ先輩社会人の働き方を学んでもらう勉強会とする。 （5）開催内容 ・学生向け「みつけふえ」8回程度 （企業と学生のグループ情報交換会形式もしくは、ゲストスピーカーの講演形式、または両方を取り入れたイベントとする。） ・企業5社程度／学生30名 ・企業からは、経営者、採用担当者だけではなく、ロールモデルにも参加を依頼する。 2. 親に対する情報提供 （1）従来からある就職活動how to講座、企業説明会だけではなく、学生が幸せなライフを送れる、働き方を選択できる情報提供の場とする。 （2）グループでの情報交換会（企業×親）の時間を十分に確保する。 （3）開催内容 ・親向け「みつけふえ」1回程度
	事業期間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
	事業費	1,569,669 円
活動効果 （想定される調査・検証結果等）	○学生と親に市内ワークライフバランス優良企業の存在と、松山市が働く、生活する上で「就職幸福都市」であることを認知してもらうことにより、学生のライフプランの早期創造と学生の市外流出を食い止めることを目的とする。 ○学生が企業選択時に注目している「働きやすさ」をPRすることで、企業にとっては求人や企業説明会だけでは伝えることのできない情報をPRする手法、学生・親に選ばれる企業になるための情報収集の場、採用プロモーションの課題発掘の場となる。 ○強力な応援団となりえる親に対しての情報提供の場となる。	

【中小企業振興円卓会議】令和元年度専門部会 事業計画書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
松山市補助金	1,500,000 円	
法人会負担	69,669 円	
	円	
	円	
合 計	1,569,669 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
人件費	520,800 円	日給7,000円×248日×1名×0.3（業務按分割合）
人件費	85,000 円	法定福利費×1名×0.3（業務按分割合） （雇用保険、労災保険、石綿救済法に基づく一般拠出（概算））
人件費	14,760 円	通勤手当 4,100円×12ヶ月×1名×0.3（業務按分割合）
旅費	22,200 円	訪問による車両交通費（@37*50km*12ヶ月）
報償費	260,000 円	講師（司会）謝金@20,000*1名*9回 専門家による優良企業ヒアリング@4,000*10社*2名
需用費	150,000 円	広報誌等
需用費	160,000 円	情報交流会消耗品費@5,000*8回 消耗品@10,000*12ヶ月
使用料及び賃借料	94,212 円	パソコンリース代（@16,000*12ヶ月）×0.3（業務按分割合） 事務所費@8,920*12ヶ月（実績算出）×0.3（業務按分割合） 光熱費@15,000*1名（実績算出）×0.3（業務按分割合）
使用料及び賃借料	120,000 円	郵便料、電話料（@10,000*12ヶ月）
消費税	142,697 円	消費税10%
合 計	1,569,669 円	

【中小企業振興円卓会議】令和元年度専門部会 事業計画書

活動名	変えようや松山! 働き方改革先進都市へ	
部会名	はたらきかたワクワクプロジェクト	
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈	
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	
構成メンバー	松山商工会議所、ジョブカフェ愛work など	
活動テーマ	ええ会社づくり	
活動項目	「条例の推進活動」	
活動詳細	<p>現状・課題</p> <p>まつやま働き方改革推進プロジェクトが立ち上がり、市民（県民）の主体的な働き方改革の活動の場として「まつやまワークワク部」が設立され、部員は59名（18.11.20現在）です。 現場の方々の状況を聞くと、深刻な労働人口減少フェーズに入っているにも関わらず、働き方改革に対する優先順位は低く、「様子見」の企業や個人が多いと感じます。また、人手不足感はあるものの、生産性が低い認識はなく、労働者の幸福度は高い（不自由がない、疑問に思わない） 理由としては、「働き方改革＝長時間労働の抑制、休日増加」といった、経営にメリットを感じない側面として理解しているケース、あるいは大手企業に多いのは「（各種制度を取り入れて）うちはやっている」で終始しているケース、また現場の方々の「（経営者が変わらないから）変わらない」という他力本願的諦め感、など、働き方改革の本質理解や個人の意欲喚起など、まだまだ道半ばです。</p>	
	<p>活動内容</p> <p>【条例の推進活動】 まつやま働き方改革推進会議の分科会「まつやまワークワク部」の活動を事務局としてより具体化していきます。 <平成30年度の活動の振り返り> ・入部者の属性は、 経営者11名、人事採用12名、現場14名、フリー（個人事業者等）14名、公的3名、学生3名、不明2名、という状況です。 また、入部目的も様々で、「会社を変えたい・自分自身を変えたい」という思いを持ちつつも、行動しようとしている方は多くなく、「情報が得れたらいい」という消極的な姿勢の方が多数派です。 想定以上に、こちらからのアプローチがなければ、常連の方のみの活動に偏りがちで、バーチャル（kintone）にもアクセスが少なく、草の根的な声掛けが必要でした。 ・こちら側が「どのような場所で」「どのような人に来てほしいか」「ここに来ることでどうなるか」などをはっきりと示し、部員の方々に声がけをし、具体的に部員が何をどうしたいのか、ということ伴走していく必要性を感じました。</p> <p>1. まつやまワークワク部の活動充実のための環境づくり ・部活のコンセプトや活動スケジュールリング、随時調整 ・WEBやSNSを使った定期的な情報発信 ・入部説明、入部に悩む方々への打診、フォロー ・入部手続き事務（メールでのやり取り、請求書、領収書発行等）</p> <p>2. まつやまワークワク部の主体的な活動促進 ・部員の持ち込み企画や活動の引き出しと伴走 ・部員個別への投げかけや必要に応じてのメンタリング ・協力団体等、他の協働者との企画、実施</p>	
	事業期間	平成31年 4月 1日 ～ 令和2年 3月 15日
	事業費	1,500,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等)	<p>・悩んでいるカテゴリー同士で解決方法を模索し、ヘルプしあう化学反応が起こる。</p> <p>・働き方改革の小さな化学反応が起きる場所となり、種をまく企業や個人が増える。 結果、事例企業や事例個人が増える。</p>	

【中小企業振興円卓会議】令和元年度専門部会 事業計画書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,500,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
賃金	1,356,000 円	事務局担当者
旅費交通費	48,000 円	スタッフ移動費
通信費	36,000 円	3,000円×12か月
賃借料	60,000 円	PC1台レンタル代5,000円×12か月
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

【中小企業振興円卓会議】平成31年度専門部会 事業計画書

活動名	中小企業の魅力発信で人材確保を促進	
部会名	人育ち応援部会	
部会長・副部会長名	部会長 中 周作	
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会	
構成メンバー（予定）	愛媛県中小企業家同友会、愛媛大学、松山大学、特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」	
活動詳細	現状・課題	中小企業をめぐる経営環境は厳しいものがあり、愛媛同友会景況調査では数年前より経営上の課題・力点に「人手不足」の課題が第1位の回答で高止まり状態となっている。 また中小企業家同友会全国協議会では2015年6月より、『働く環境づくりのガイドライン』プロジェクトを製作し、現在ガイドラインの総合版、普及版、『人を生かす就業規則』などの成果物を発行予定である。経営者自身が基礎的力量として労務及び労務管理を学ぶことが全国的に方針化されており、中小企業が整備すべき啓発が必要である。
	活動内容	<p>(1) 職場環境改善・啓発セミナー 特定活動非営利法人ワークライフ・コラボと連携して、中小企業の大きな課題である求職者に選ばれるような魅力ある企業づくりに取り組む。</p> <p>開催時期：6月、7月、9月、11月は予定（年4回から、可能であれば最大6回程度で開催予定） 開催場所：主に愛媛大学、松山大学の学内、公共施設を利用。 参加対象：県内中小企業経営者、人事担当者、一般参加も可。 学生の参加者は数名程度から最大20名程度を想定。 企画内容：中小企業経営者の職場環境改善の経営実践報告、自社への活用に向けて参加者のグループ討論を主とする。</p> <p>(2) 大学と連携した学生との意見交換・交流学習会 中小企業家同友会と包括協定を結んでいる愛媛大学と学校法人松山大学と連携し、学生との懇談会・ワークショップと興味・関心のある学生には企業見解も併せて開催。 中小企業の価値を発信し、キャリア教育にも資するとりくみを行う。</p> <p>開催時期：6月、7月、9月、11月は予定（年4回から、可能であれば最大6回程度で開催予定） 開催場所：主に愛媛大学、松山大学の学内、公共施設を利用。企業見学もかねて参加企業会議室でも行う。 参加対象：県内中小企業経営者、人事担当者、一般参加も可。 学生の参加者は数名程度から最大20名程度を想定。 企画内容：参加する中小企業者より、経営理念やビジョン、事業内容、自社の強み、とりくみなど、各回でテーマごとに学生へプレゼンをし、学生目線・価値観でプレゼン・PR・情報発信方法などに意見を頂く。また、企業見学会も兼ねて、参加企業の会議室で懇談会を行うこともする。</p> <p>参加企業には、(1)のセミナーに参加したうえで、(2)の企画で職場環境改善の実践状況やとりくみを発表する機会を設けることで、各社の魅力ある企業づくりのとりくみの発信をする相乗効果を狙う。</p>
	事業期間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
	事業費	1,500,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業自身の職場環境整備を進め、社員にとって働きがいとやりがいのある魅力的な職場づくりにつなげる。 ・学生らへ中小企業の魅力や中小企業の職場にある教育力を発信することで、中小企業の弱点である広報情報化・情報発信力を強化する。新卒採用で選択肢として射程に入れてもらい、中小企業の採用力をつける。 ・学生自身が自ら企業研究を行い、自社のキャリア形成を深く考える機会として、学生が成長できる機会となる。 	

【中小企業振興円卓会議】平成31年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,500,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
人件費	400,000 円	事務担当者の人件費
事務経費	80,000 円	事務に係る郵送費、消耗品費
報償費	70,000 円	中小企業・職場見学会実費（弁当、企業見学科、資料代、学生交通費助成等）
通信費	20,000 円	チラシ等の案内郵送費
印刷製本費	30,000 円	チラシ、資料印刷費
旅費交通費	50,000 円	打ち合わせ会合のための交通費等の実費
委託費	850,000 円	セミナー委託費 人件費470,000円 講師謝金：210,000円（講師：@30,000円×7名） 県外講師旅費：120,000円（@30,000円×4名） セミナー会場費：50,000円
	円	
合 計	1,500,000 円	